

「松江市みんなにやさしいデジタル市役所計画」(案)に関する説明資料

- I 計画策定の背景 …………… 松江市のこれまでの取り組みやデジタル化に関する社会情勢など、本計画を策定することとなった背景を記しています。
- II 計画の概要
- 2.1 計画策定の趣旨 …………… 人口減少社会におけるサービスの維持・向上など、本計画を策定する趣旨について記しています。
- 2.2 計画の構成 …………… 本計画では基本方針等について定める、といった計画の構成について記しています。
- 2.3 計画の位置づけ …………… 上位計画である松江市総合計画を下支えすることなど、他計画との関連について記し、併せて図示しています。
- 2.4 計画の目標 …………… 本計画で定めた目標とその意図について記しています。
- 2.5 計画の期間 …………… 計画期間は8年間(2022年度～2029年度)です。期間設定についての考え方を記しています。
- III 計画の基本方針 …………… 「市民サービスの向上」「業務の効率化」「人材育成」という3つの柱を立てていることなど、基本方針についての説明を記しています。
- 3.1 市民サービスの向上 …………… 「市民一人一人が自分の生活スタイルや使いやすさに合わせて、『ちょうどいい』やり方で手続きしたり、行政サービスを利用できる」というビジョンの説明や、実現のために達成すべき項目、見込まれる効果を記しています。
- 3.2 業務の効率化 …………… 「すべての職員が、最適な環境の下、庁内の各課が持っている情報を簡単に利用でき、職員間で連携してスムーズに仕事ができる」というビジョンの説明や、実現のために達成すべき項目、見込まれる効果を記しています。
- 3.3 人材育成 …………… 「すべての職員が基礎的な情報リテラシーを持っており、市の課題を分析し、部署を越えて連携して行政サービスや業務をよりよくしていける」というビジョンの説明や、実現のために達成すべき項目、見込まれる効果を記しています。

- IV 具体的な取組と手法 …………… 別途定める『実施計画』や、取り組みを進める手法である「カンバン方式」の説明を記しています。
- V 推進体制 …………… 計画の進捗管理や、計画の見直しを行う際の組織体制を記しています。
- 資料編 …………… 松江市発のプログラミング言語「Ruby」を使ったサービスや、松江市のシステムに関する課題、用語解説などを記しています。